

上越市議会 各層との意見交換会 開催記録

地域協議会 × 市議会



【日時】

- ①平成29年2月13日(月)13:30～15:30
- ②平成29年2月14日(火)13:30～15:30

【会場】

- ①春日謙信交流館
- ②三和地区公民館

地域協議会 × 市議会

日時 ①平成29年2月13日(月)13:30～15:30
②平成29年2月14日(火)13:30～15:30

場所 ①春日謙信交流館
②三和地区公民館

概要 ①②とも、A～Cの3グループに分かれて意見交換、発表

意見・質問	
項目1	地域協議会のうち地域における要望や意見など課題の取り上げ方について
1	地域に直接出向いて「出前地域協議会」をやっている。
2	地域で活動されている方を講師として迎え勉強会をやっている。また、これらの報告会をもとに地域の方達の意見を聴いている。
3	地域協議会そのものがどういう役割であるかという話をし、その中でそれぞれの地域の課題を自分たちで解決するための地域協議会であると再確認をした。また、傍聴者を増やすために防災行政無線等を活用して呼びかけていくことが大切である。
4	要望や意見の取り上げにたいへん苦勞している。
5	地域協議会と町内会長協議会との関係性、すみ分けが難しく悩んでいる。
6	頸城区では3つの部会を設け、区内の団体との協議の機会を設けたり、小学校区単位の意見交換会を開催している。共通する問題については3つの部会で検討し方向性を出している。
7	三和区では3地域があるが、それぞれ懇談会を開催し意見を聴取している。
8	本来、地域協議会が地域に出向いて意見交換するべきであるが、なかなかできていない。
9	地域協議会委員の改選もあり、しっかり学習していかないと共通認識がなかなかもてない。話が深まらないという課題がある。
10	地域協議会委員は何をすべきかということと地域の現状、市の財政や人口減少問題など市の現状を勉強することで将来に対するビジョンを考えることが必要である。
11	地域協議会会長会議では会長同士で勉強会、意見交換会をすることで広く意見交換がされた。それにより考えが深まり、課題を共有することができ非常によかった。今後もこのような勉強会を開催すべきである。
12	新しい地域協議会委員がたくさんいて、地域協議会委員の立ち位置や内容まで知ってもらうのに時間がかかる。1期4年くらいやらないと理解できないのではないか。
13	地域の課題が出されたが、取り上げ方についてはまとめることができなかった。
14	どこの地域協議会も市民と話し合う機会をきちんと設けている。
15	話し合うことよりもまず聴くことが大切。
16	地域協議会委員が町内会の役員を兼務している方もおり、町内会や町内会連絡協議会で出された意見を挙げることも重要である。
17	まちづくり団体、市民団体との話し合いも大切にしている。
項目2	市からの諮問事項についての地域住民の意見集約の方法
18	諮問が多すぎて自主審議がやっていけない。月2回開催しても自主審議に取り組めない。
19	諮問の中には、既に起工式も終わっている案件が諮問されてくる。
20	公共下水道のことについて、市街化調整区域があり、結論ありきのような諮問が出されたが地域住民の意見集約をすることができない。市にはいろんなことを想定できるような諮問のあり方をしていただきたい。
21	意見集約の方法として、多数決でまとめるべきなのか、両論併記にすべきなのか、今後の課題としていかなければならない。
22	市から諮問されるが、地域に持ち帰って協議する時間がなく、住民意見の集約は困難である。
23	例えば、公の施設の統廃合問題について、行政により説明会が開催され、さらに地域協議会として住民と議論することは難しい。
24	たくさんの資料が提出され、熟慮、議論する時間がない。
25	市から出される諮問が既に結論ありきという形で出てきて、地域協議会で話し合っただけで何になるのかという感覚を持っている。
26	予め「こういう問題は地域にとって重要なので将来的に市から諮問がくるだろう」と見当がつくものについて、先駆けて自主審議をした。

27	結論ありきではなく、市からの諮問に対して、「地域ではこう考えている。」という意見をはっきり主張した結果、市から示された提案が住民の考えに沿って変化していった。地域協議会の審議が地域住民から高く評価され、地域協議会のモチベーションも上がったという成功事例も報告された。
28	地域協議会の審議が地域住民から高く評価され、地域協議会のモチベーションも上がった。
29	諮問される前にすでに行政と地域の方との話し合いが済んでいる案件があり、どこまで地域協議会の役割として自分たちが審議をすればよいのかという懐疑的な感想を持っている。
項目3 審議結果などの地域住民への周知や報告（例えば、報告会など）	
30	地域協議会だよりを通じて報告をしている。（ある地域協議会では16人の委員のうち11人が広報委員としてやっているところもある。）
31	区内の各地域（町内）に出掛けて行って地域協議会を開いたり、報告会を行っている。
32	市の職員が地域協議会だよりを作成し、発行しているが、まずは地域協議会委員の中から編集委員を出して発行するようにならないといけないだろう。13区の地域協議会に比べれば、まだまだ勉強していかなければならない。
33	市民に分かりやすいようにQ&Aの形にしたほうが読んでもらえるのではないかな。
項目4 個々の地域に限定されない多くの地域で共通する課題について	
34	地域活動支援事業で地域の活性化に資するため使うべきである。第3次まで追加募集をすることがよいのかという疑問もある。
35	県立武道館の建設が決まったが、その周辺にも市有地がたくさんあるのでその活用を考えてほしい。
36	観光物産センターについても大型観光バスが入るような、生鮮食品も売っているようなもっとレベルアップした観光物産センターが必要ではないかな。
37	人口減少問題に対して、雇用対策にしっかり取り組んでほしい。
38	例えば保倉川放水路のような話であれば、ひとつの区や下流や上流の区で話し合うのではなく、全部連携してやった方がよいのではないかな。また、地域協議会として国や県に意見書を出してもよいのではないかな。
39	市全体のことは市議会がやり、地域の課題については地域協議会がやるということで他地域との共通の課題について、これまで審議することはなかった。
40	例として頸北斎場の問題や大湊区のガス営業所の問題もあったが、このようにいくつかの区にまたがる問題については、設置している区だけでなく関係する複数区での協議が必要ではないかな（協議されるべきではないかな）。
41	今は区だけの問題を協議すればよいという考えがあるが、そうではなくて上越市の中のひとつの区として全体を考える責務があるのではないかな。
42	全体で考える課題として中山間地域を背景にした空き家問題や人口減少問題が話された。
項目5 市議会に若者や女性が挑戦し易い環境の整備の推進について	
43	4年に1回の改選時のみアピールするのでは、日々の議会や地域協議会の活動を知らせることが大切ではないかな。
44	議員報酬が低いのではないかな。
45	意見交換の場で絶えず議会から市民へ課題を投げかけてもらえればよいのではないかな。
46	議論をすることが大切なことであるという価値の伝達が必要である。単なる金銭的な利益ではなく、議会に参加する価値というものを若者や女性に分かってもらうことではないかな。
47	まだまだ上越市における女性の地位向上を進めていかなければならないだろう。
48	議会が何をやっているかを若者や女性に限らず市民全体に知らせる意味で、土日にも議会をやることがあってもよいのではないかな。
49	傍聴に行きやすい仕組みづくりが必要ではないかな。
50	上越市の将来を見たときに若者が入ってくるのがとても大切なことであり、それは我々のやるべきことである。
51	議会や地域協議会に参加する人が男女ともに少なくなっている。
52	本人のやる気が中心ではあるが、実際にはお金がかかりすぎると感じており、公費負担があることをしっかりPRすることも大事である。
53	地方議会にも女性のクォータ制の導入を検討すべきではないかな。
54	誰でも市議会に参加しやすい仕組みづくりに向けた検討が必要である。
55	若い人は自分の生活や子育て、住宅資金などの収入源が確保されないと議員になるのは難しいのではないかな。
56	選挙となるとある程度組織を持っていないと出られないという問題があるのではないかな。